

「社会教育で
創る 育む つなげる 共生の未来へ」

第56回 関東甲信越静
社会教育研究大会
神奈川大会
開催要項

令和7年11月20日(木)・21日(金)

【研究主題】

「すべてのひとが
学び続けられる社会をつくるために
社会教育ができること」



神奈川県
PRキャラクター
かながわキンタロウ

【会 場】 関内ホール ほか

主催／共催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、
第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、神奈川県社会教育委員連絡協議会、
神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

1 大会スローガン 「社会教育で創る 育む つなげる 共生の未来へ」

2 研究主題 「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」

3 趣 旨

人生 100 年時代といわれている昨今、グローバル化や地球環境問題、少子化・人口減少、都市地方格差による様々な社会問題が取り上げられる中、継続的な生涯を通じての学び、誰もが活躍できる環境の整備、持続可能な社会の構築が求められ、社会教育の役割が期待されています。

今回の神奈川大会では「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」をメインテーマとして研究大会を開催いたします。

開港 166 年を迎え日本の伝統文化と近代的な都市との融合がみられる神奈川県「横浜」の地で、これからの社会教育について、私たち社会教育委員に何ができるのか、何を担うべきかを考える 2 日間としたいと思います。

4 主 催/共 催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、
第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、
神奈川県社会教育委員連絡協議会、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

5 期 日 令和 7 年 11 月 20 日(木)・21 日(金)

6 参加者 関東甲信越静各市町村社会教育委員及び事務局関係者
同地区の社会教育関係団体会員、社会教育施設職員等社会教育関係者
同地区の地域住民、NPO 法人、社会教育士、
学校関係等生涯学習・社会教育に関心のある方

7 参加費 4,000 円（参加資料代等） ※学生は 2,000 円



8 日 程

		11:00		12:00		12:30		13:00		14:10				16:20		16:40		18:30	
第 1 日目																			
11 月 20 日(木)																			
【全体会】				受 付		歓 迎 セ レ モ ニ		開 会 行 事				記 念 講 演				シンポジウム		閉 会 行 事	
																		情 報 交 換 会	

		9:30		10:00				12:30	
第 2 日目									
11 月 21 日(金)									
【分科会】				受 付				分科会 (分科会ごとに閉会)	

9 会 場

【第1日目】＜全体会＞

関内ホール（大ホール） 横浜市中区住吉町4-42-1

JR 関内駅北口徒歩6分、市営地下鉄ブルーライン関内駅9番出口徒歩2分

【第2日目】

＜第1分科会＞ **関内ホール（小ホール）** 横浜市中区住吉町4-42-1

JR 関内駅北口徒歩6分、市営地下鉄ブルーライン関内駅9番出口徒歩2分

＜第2分科会＞ **横浜市開港記念会館（講堂）** 横浜市中区本町1-6

みなとみらい線日本大通り駅1番出口徒歩1分、JR 関内駅南口徒歩10分

＜第3分科会＞ **横浜情報文化センター（情文ホール）** 横浜市中区日本大通11

みなとみらい線日本大通り駅3番情文センター口直結、JR 関内駅南口徒歩10分

＜第4分科会＞ **横浜市技能文化会館（多目的ホール）** 横浜市中区万代町2-4-7

JR 関内駅南口徒歩5分、市営地下鉄ブルーライン伊勢佐木長者町駅2番出口徒歩3分

＜第5分科会＞ **かながわ県民センター（ホール）** 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

JR・みなとみらい線横浜駅きた西口徒歩5分

10 大会内容

【11月20日（木）】第1日目＜全体会＞

11:00～12:00 全体会受付

12:00～12:20 歓迎セレモニー 「中国獅子舞」 学校法人横濱中華學院

12:30～13:00 開会行事

・主催者あいさつ

第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員長
全国社会教育委員連合会長

・来賓祝辞

・歓迎のことば

・来賓紹介

13:10～14:10 記念講演

テーマ：「誰もが自分らしく生きることができる社会をめざして」

認定NPO法人スローレーベル 栗栖 良依 氏

14:20～16:20 シンポジウム

テーマ：「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために

社会教育ができること」

＜コーディネーター＞

青山学院大学 コミュニティ人間科学部 教授 伊藤 真木子 氏

＜シンポジスト＞

東京都台東区教育委員会社会教育主事 阪本 陽子 氏

一般社団法人視覚聴覚障害アドボカシー研究所マイノリティリサーチセンター研究員

相模原市社会教育委員 渡邊 健一 氏

前厚木市立森の里公民館長 青木 信二 氏

16:20～16:40 閉会行事

・次期関東甲信越静社会教育研究大会開催県あいさつ（群馬県）

・全員合唱 ゆず「栄光の架橋」 作詞：北川悠仁 作曲：北川悠仁

・閉会のことば

【11月21日（金）】第2日目＜分科会＞ 10:00～12:30（分科会受付 9:30～10:00）

第1分科会		会場：関内ホール（小ホール）
テーマ	＜地域の教育力の再生と社会教育委員の役割＞ 地域の教育力の低下が指摘される中、地域の教育力を再生していかなければならない。その再生にむけた社会教育委員の役割について考える。	
助言者	聖学院大学 准教授 若原 幸範 氏	
事例発表者	内 容	
【長野県下諏訪町】 下諏訪町社会教育委員 依田 秀人 氏	星ヶ塔黒曜石原産地遺跡を題材にした学び ～紙芝居を作った私たちの物語～	
	社会教育委員が星ヶ塔黒曜石原産地遺跡を題材にした学びを紹介する。紙芝居制作を通じて、地域の歴史と文化を子どもたちに伝える取り組みを行い、その過程で得た成果と課題について発表する。	
【神奈川県海老名市】 海老名市社会教育委員会 議長 橋本 絵美里 氏 副議長 金田 ゆかり 氏	子どもと大人が共に育つ社会の構築を目指して	
	本市では、「子どもの活動支援をとおして、子どもと子ども、子どもと大人、大人と大人が、人と人とのつながりを広め、深め、子どもと大人がともに育つ社会の構築」を社会教育目標に掲げ、社会教育委員自ら行動し、社会教育計画の進捗を支えている。	

第2分科会		会場：横浜市開港記念会館（講堂）
テーマ	＜次の世代につなぐ持続可能な社会＞ 予測できない未来に向け、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える。	
助言者	青山学院大学 准教授 大木 真徳 氏	
事例発表者	内 容	
【栃木県市貝町】 市貝ジュニアリーダースクラブ会長 永島 誠強 氏	地域の若者と大人が協力して作り上げる、次世代へ向けた新イベント「おかのぼ Rock Fest.」の実施について	
	高校生の「やってみたい」という思いから始動した、地域初の音楽フェスである。開催決断にいたるまでの経緯や、準備中の困難だった点、イベントを経験した高校生たちの地域のこれからにかける思いなど、詳細について説明を行う。	
【神奈川県藤沢市】 藤沢市社会教育委員会 認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構	「未来を担う人材育成～地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム～」	
	藤沢市社会教育委員会が深く関わり策定された「生涯学習ふじさわプラン 2026」に位置付けられている「未来を担う人材育成」について考える。具体的な事例として、「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム」を紹介する。	

第 3 分科会 会場：横浜情報文化センター（情文ホール）	
テーマ	＜家庭教育支援＞ 子育て・家庭教育の大切さを認識し、地域・学校など社会全体で支えるような親や子どもを支援していく取組について考える。
助言者	鎌倉女子大学 教授 久保内 加菜 氏
事例発表者	内 容
【群馬県高崎市】 高崎市社会教育委員 小池 美千子 氏	「学び」を通じて親子が成長し、活躍できるための家庭支援の方策について
	子ども世帯の減少、核家族化進行など家庭を取り巻く環境の変化等により親（保護者）が抱える悩みも複雑化している。本市では、「学び」を通じて親子が自立する力を高め、自信を持って成長し、活躍できるための家庭支援の方策について、提言をまとめた。
【神奈川県寒川町】 寒川町社会教育委員会議 寒川町教育委員会生涯学習課 副主幹 山口 明子 氏	子どもの未来を地域で育てる ～公民館・図書館における家庭教育支援の取組～
	子どもが社会性を身につけ、自立心を育むためには家庭教育の役割は重要である。近年は家庭環境が多様化し、課題を抱える家庭もみられる。地域全体で子どもの健やかな成長を支援し、学ぶ機会の充実に向けて、地域の身近な学びの場である公民館、図書館の家庭教育支援の取組を中心に紹介する。

第 4 分科会 会場：横浜市技能文化会館（多目的ホール）	
テーマ	＜共生社会の実現＞ 年齢、性別、障がいの有無、文化的背景等に関わりなく、誰もが豊かな人生を享受することができる共生社会の実現にむけた社会教育の役割について考える。
助言者	東京家政大学 教授 白木 賢信 氏
事例発表者	内 容
【神奈川県川崎市】 川崎市教育委員会事務局 生涯学習推進課長 山口 弘 氏	多文化共生社会の実現に向けて ～市民館等における地域日本語教育の取組～
	本市では 1980 年代以来、市民ボランティアの参画を得ながら市民館等において識字・日本語学級を運営してきたほか、多様な主体による地域日本語教育の取組が行われている。取組の成果と課題、共生社会の実現に向けた持続可能な体制づくりについて発表する。
【神奈川県茅ヶ崎市】 茅ヶ崎市社会教育委員 下村 耕一郎 氏	共生社会推進に向けて社会教育施設ができること ～誰もが活用しやすい公民館を目指して～
	「障害児・者が自分らしく生きることができるよう社会教育施設は何かできるか」をテーマに調査・研究を進めている。「地域とともにある学校」を目指す特別支援学校とタッグを組み、地域のニーズをもとに、共生社会推進につながる新講座を企画・実施した。

第 5 分 科 会		会場：かながわ県民センター（ホール）
テーマ	＜地域学校協働活動＞ 地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をととして地域の活性化を図り、積極的な世代間交流につなげる取組について考える。	
助言者	国立教育政策研究所 初等中等教育研究所 部長 藤原 文雄 氏	
事例発表者	内 容	
【新潟県見附市】 見附市社会教育・スポーツ 推進審議会委員 江田 隆行 氏	社会教育委員がつなぐコミュニティ・スクールと地域学校協働活動 ～新潟県見附市立見附中学校での取組～	
	見附中学校生徒会発案の「みちゅまいも（サツマイモ）」の栽培、収穫、販売等の活動への支援を通して、商店、住宅地、農地のある学区の住民が中学校に集い交流した取組である。社会教育委員としての経験を活かし、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動が一体化するよう取り組んだ様子を紹介する。	
【神奈川県真鶴町】 真鶴町社会教育委員会 議長 奥津 秀隆 氏 他	弱みを強みに！～小さな町の挑戦～	
	過疎地域に指定され、地域資源も乏しく少子高齢化が急速に進む小さな町が、町にある資源を有効活用し、ないものは他地域に求めるとともに、コンパクトな規模の町であることを生かして地域を巻き込みながら、弱みを強みに変えて大人も子どもたちも元気に活動する姿を紹介する。	

11 開催/参加方法

（１）開催方法について

- ・全体会及び分科会は対面で行います。ライブ配信は行いません。

（２）参加方法について

- ・大会申込みサイトからお申込みください。団体でのお申込みも可能です。

12 その他

- ・今大会では、ご参加いただく皆様の乗用車でのご来場はできません。公共交通機関をご利用ください。

＜大会に関する問合せ先＞

第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会

住 所 横浜市中区日本大通 1 〒231-8588

T E L 045-210-8347

F A X 045-210-8939

受付時間 8:30～17:15 ※土曜・日曜・祝日は休業